

聖陵 Sei-Ryou

CONTENTS

- 同窓会長あいさつ 1
- 学長あいさつ 1
- 2010年4月、栄養科学部開設！ 2
- 文学部との2学部制に 2

- 図書館の机上間仕切りについて 2
- 石井先生追悼 3
- 活躍する卒業生 3
- 「夢明かり思い出作り」を終えて 4
- 事務局便り 4
- インフォメーション 4
- 編集後記 4



「WELCOME ♡ 2010 盛岡大学」夢明かり思い出作り



夢明かり作成

盛岡大学は増殖成長しています。
同窓生の皆さんお元気でお過ごしですか？
私達の聖陵同窓会も、二十七期を迎え約九千人の会員に至る迄になつております。
現在盛岡大学は、栄養科学部栄養科学科開設で新たなる事業展開を図ろうとしています。時代の先読みを熟慮した久慈理事長を初めとする多くの関係者の英断であります。入学志願者も予想を上回り入試担当者もうれしい悲鳴と伺つております。きっと優秀な学生がこれから盛岡大を担つてくれるでしょう。

聖陵同窓会からも、開設準備金の寄付を会員の皆様を代表してお渡しした次第です。

更に、法人本部からの個人寄付のお願いも合わせて可能な限り御協力お願い致します。

さて、望月学長より、盛岡大学の強みを生かすべき教師教育センターの大学独自のサポートに邁進しているお話を伺うにつけ、聖陵同窓会としても出来る限り協力関係を保ち、盛岡大学の大きな魅力のひとつとして育てて行きたいと思いまので、教育関係にお勤めの方も御一緒に御協力お願い致します。

そして忘れてはならないのが昨夏の盛岡さんさで卒業生のドリームさんさが優秀賞を獲得、現役盛岡大学チームは文句なし最優秀賞をダブルで受賞しました。

亀澤リーダーのエネルギーさんに今年も大感激しました。終わりに、今後共大学と聖陵同窓会に温かい御支援をよろしくお願ひ致します。



盛岡大学聖陵同窓会会長
菅原 元

卒業生のみなさん、卒業おめでとう。
みなさんが盛岡大学に迎えることができたことを感謝します。

これから、既に卒業された先輩のみなさんがそうであつたように、みんなお一人が「盛岡大学の証人」です。

盛岡大学の評価は、みんながどうした人となるかによつて決まります。先輩のみなさんにならつて、大学で養つた力をもとに、社会に交わり、社会に貢献してください。

大学、特に私立大学は、卒業生によつて成り立つのです。

(既に卒業された先輩のみなさんへの思いもこめて、卒業式でも、述べることになりますが、私の祈るところは、みんなが、卒業後も大学を訪ねてくれることです。

配偶者に恵まれた人は、その配偶者の手を引いて、子どもに恵まれた人は、子どもの手を引いて、更に孫に恵まれた人は孫の手を引いて、この「心の故郷、盛岡大学」を訪ねてください。

大学は、現在の在学生や教職員のみものではありません。

卒業生(同窓生)と一体となつてこそ「眞の大学」と言えるのです。

みなさんと共に、そうした「大学」を創り上げましょう。

卒業生(同窓生)と一体となつてこそ「眞の大学」と言えるのです。

みなさんと共に、そうした「大学」を創り上げましょう。



盛岡大学学長
望月 善次

二〇一〇年四月、栄養科学部開設！文学部との一学部制に

短期大学部食物栄養科を四年制の新学部に改組

二〇一〇年四月、盛岡大学に新しい学部、栄養科学部が設置されます。新学部の概要についてパンフレットの内容から抜粋して紹介いたします。

★盛岡大学栄養科学部五つの特色

① 高い専門性と人間理解力を育む「人間栄養学」の追究

管理栄養士として医療や保健・福祉・教育の現場で活躍するときには、一人ひとりの「からだ」「こころ」を含む人間全体を理解し対応していく力

【データ】メイドの栄養管理・指導」が要求されます。人間教育を基盤にしてきた本学では文学部と連携し、人と「対話」できる力を育みます。

② 地域理解の実践科目を設置

豊富な食資源、高い食糧自給率をもつ一方、特有の疾病や健康課題を抱える北東北。この地域特性と食生活の関わりを充分に把握することは、進路実現のために重要です。地域栄養科学分野では本学独自の科目を設置し、地域をよく知り、地元で活躍できる人材を育てます。

③ 管理栄養士に必要な力を身につける臨床栄養関連のカリキュラム

管理栄養士国家試験受験資格の充実を図ります。専門的職業人としての教養と基礎を固め、専門性を高めて、

確実に力をつけるカリキュラムで構成。演習や実験・実習科目を体系的に組み合わせ、実践的技能を体得します。

④ 管理栄養士国家試験合格をめざす資格取得・就職サポート体制

管理栄養士国家試験合格のための対策講座を一年次から実施したり、公務員試験対策講座、栄養教諭のための実践セミナー、個別相談など、学生の希望進路をサポートするきめ細やかな就職支援体制を計画しています。

⑤ 短期大学部四五年の実績を継承進化。充実した教育環境と設備

毎年九〇%超の就職率を誇り、長年にわたり地域の信頼を得てきた短期大学部「食物栄養科」を牽引してきた優秀な先生方。管理栄養士の養成を見据えて作られている教室や実習室などの充実した設備・施設を継承する恵まれた環境のもと、四年間しっかりと学ぶことができます。

★目指せる資格

・管理栄養士国家試験受験資格

- ・栄養士資格
- ・食品衛生管理者任用資格

※取得資格は申請中であり、変更にもあります。



(平成十五年度 日本文科学科
盛岡大学図書館勤務 上條尚樹)

■図書館の机上間仕切りについて

図書館では二〇〇九年夏に聖陵同窓会より、埼玉福社会製の間仕切り板十枚をご寄附いただきました。心より御礼申し上げます。間仕切り板は高さ四五cm、幅一二〇cmの半透明のもので、館内に二九ある四人掛け閲覧机の机上中央に設置しております。

オックスフォード大学ボドリアン図書館長Sarah E. Thomasによれば、「図書館は蜂の巣のような場所」であり、即ち、「人の活動を見る。自分の活動を見せる。それによって刺激を受ける」事を目的とした場所でもあるのですが、向かい合わせとなる空席は使用しない学生が多く、試験・卒業論文作成等により学生利用が増加する時期には来館者が延べ三五〇人を超えることもあります。閲覧席が不足状態となっていました。

プライバシーを尊重し、学習環境を整えるために設置したものでしたが、「(四人掛けの机)一人で使うのは心苦しいこともあった」「(対面で顔を上げたときに)知らない人と目が合うのが恥ずかしかった」などの声があり、学生にも好評のようです。図書館では来年度より卒業生に対する支援を厚くしようとする動きも出ています。今後も利用者にとって使いやすい図書館を目指して行きますので、ご支援のほど宜しくお願いいたします。

追悼



盛岡大学文学部児童教育学科の石井仁先生が、平成21年9月20日に逝去されました。

ご専門の教育学の授業では、臨床教育学、臨床教育学演習、生徒指導の研究、教育課程及び方法などを担当されました。

人間味あふれる笑顔と優しさをお持ちの先生のご指導のもと、多くの学生が巣立っていきました。

先生の本学に対する多大なご尽力に感謝するとともに、ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

●プロフィール●

昭和60年4月	助教授として着任、教職課程の礎を作る (～平成2年)
平成9年	文学部教授に就任
平成12年～14年	盛岡大学事務部学生部長・盛岡大学学生会館長兼務
平成14年4月～11月	盛岡大学附属高等学校長

石井先生へ

平成11年度 児童教育学科卒
白砂百合(旧姓佐藤)



石井先生が旅立つてから、節目節目に空を見上げます。いろいろな報告、相談をしたく、顔が浮かびます。大きな存在が逝去され、深い悲しみでいっぱいです。

在学中は、「生徒指導」「教育方法」「ゼミ」とご指導いただきました。大学という新しい環境で、授業は驚きの世界でした。実際のトイレットペーパーを使い、一巻き一巻きといで円周を出した1時間、夏休みの課題で「制服で街へ出て、行動の変化をレポートする」など、実体験を通して実証・考察する授業が石井流授業でした。時には、自ら金髪にして私たちの常識を覆しました。また、ゼミからつながった輪は、それぞれの人生にとって宝となっております。

口癖は「本当にそれでいいのか?」「どう思う?」でした。常に、自分の目で見て、自分の頭で考えて、物事の表と裏を見極めること。物事の本質や判断は、責任を持ち、自分で決めることが教わりました。実際、学校から離れると教科書通りに行かないことが少なくありません。実社会で自分軸を形成する基礎固めをご指導いただきました。それが、現在、教職・教育関係・その他の職業・自分の子供への教育で役立っております。そして、石井先生にいたいたいた「種」を育て、また次の世代へつなげて行きたいと思います。卒業生一同、各地で恩師に感謝しつつ精進致します。

最後に石井先生のご冥福を心よりお祈り致します。

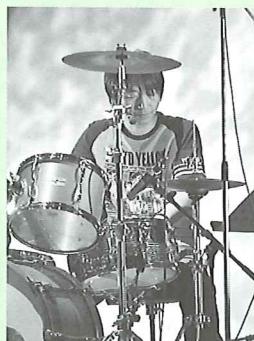
活躍する卒業生

昭和63年度
英米文学科卒
藤丸 崇

盛岡大学を卒業して、もう20年以上経つなんて、我ながら全く信じられません。今でもあの時の気持ちのまま、日々をすごしています。目を閉じると、軽音楽部の部屋(当時は厨川に校舎があった)の風景が浮かんできます。なにしろ授業以外の時間は「ここに住んでいるんじゃない?」と言われるほど、ほとんど入り浸っていましたから。

当時の仲間とは地元が違うので、年賀状のやりとり程度になってしまっているのが少々さびしいですが、今でもいい友達です。

現在は八戸市職員として、八戸市立市民病院に勤務しており、昨今の新型インフルエンザなどに振り回されておりますが、その一方で相変わらず軽音楽時代を引きずったままでバンド活動も続けています。いわゆる「おやじバンド」ってやつですね。いつかOBとして母校の学園祭に出演できたらいいなあなんて思ったりしていますので、関係各位のご協力に期待しております。



平成16年度
英米文学科卒
佐々木 洋希

現在、独立開業し
学研CAIスクール
青山校・滝沢校の代
表として小中高生対
象の学習塾を運営、
(株)学研エデュケ
ーション CAI事業
オープニングサポートスタッフとして全国に開校する教室の研修を担当、また初心者や女性、子供が参加しやすいフットサルチーム「じよい」を主宰しています。

大学時代は1年間の豪州滞在をはさみ、とてもとても刺激的な日々でした。学生国際交流委員会(MIEC)の活動に参加し他大学や他団体と交流したこと、次々と人が集まる少々散らかった研究室で聞く興味深い恩師からの話。そうした他者とのつながりの中で教えてもらったのは『気づき・考え・行動』する事。これは社会人になっても、(株)学研のような企業の中でも共通のテーマでした。

今後のテーマはズバリ「居場所」を作る事。特に社会に出てからの居場所は人生において大切な空間の一つです。他者とつながる魅力的な居場所。ある研究によると、楽観的な人はうまく新しい環境に適応しており、その理由はポジティブな感情経験をたくさん積むことができるからだそうです。私の独立開業や(株)学研での立場は全く運がよかつただけです。でもその運(チャンス)を掴む事が出来たのは人よりも多くポジティブな感情経験を大学や先生や友人に積ませてもらったからです。ポジティブな感情を生じさせる「場」や「イベント」を提供することが、塾やフットサルに集まった人の活動を質の高いものにする重要な手立てになる。今年はこのテーマを大学院で研究する予定です。

最後に学研の製品(アルゴとか)をぜひとも宜しくお願いします(笑)!



前列右端が佐々木さん
多国籍フットサルチーム「じよい」

「夢明かり思い出作り」を終えて



納会の様子

二月十一日夕方十七時、盛岡大学初の「夢明かり思い出作り」の点灯式が行われ、同窓会長や望月学長立会いの元、有志代表の三笠さんが「同じ目標に向かってがんばってきた仲間と協力し合い完成に至った。四月から新しい道を歩み始める。盛岡大学への感謝の気持ちと四年間の思い出を胸に一生懸命頑張りたい。」と宣誓した。この様子が県内の新聞やテレビで報道された。この企画は昨年末頃から、「何か思い出を形で残したい」と卒業予定の四年生誰からとも無く声が聞こえだし、四年間の学生ボランティアで培つた技術を駆使し「夢明かりを作ろう」という話に展開していくものである。これを聞きつけた同窓会が資金援助を通じて支援することになった。

去る二月二日、夢明かり企画の賛同者達の打ち合わせが行われ、「二十数名の卒業予定有志が集つた。それから十一日までの間、紙粘土の夢明かり百三十個を完成させ、十一日は建国記念の日で休日であるにもかかわらず、野球部の雪均しの手伝いもあり、極寒の中百七十個の雪の夢明かり作りを見事に完成させたのであった。

折しも二月十四日はバレンタインデーで盛岡大学の前期入試日である。夢明かり有志一同何としても受験生たちに心を籠めて「WELCOME」のエールを雪の上に表現したかった。そして、その思いが有志達の最後まで遣り通す信念から実を結んだのであった。

作成を終えた当日。四年生有志たちから「こんなに楽しい思い出をありがとうございました」「四年間の学生生活の貴重な思い出になつた」「来年も続けてやって欲しい」等々メッセージをもらつた。作成の一部始終を見守つてきた者として、本当にすばらしい学生を私たちの大學生は育てていると感無量であった。

そして、二月十九日「米久」の納会で、「夢明かり思い出作り一期生」はこれから離れ離れになつても同窓生として励ましあい、どんな困難にも立ち向かつて頑張つて行けるとお互いを奮い立たせていたのが印象的であった。

聖陵同窓会では、今後も在校生たちの「やる気」に応え出来るだけの支援をしていきたいと思う。盛大魂健在と嬉しく感じた。

(昭和六十年度 児童教育学科卒
盛岡大学教師教育センター勤務
吉田 典子)

事務局便り

平成20年度 聖陵同窓会決算報告 (平成20年4月1日~平成21年3月31日)

収入の部		
項目	予算額	決算額
入会金	1,875,000	1,635,000
終身会費	3,860,000	3,320,000
雑収入	100,000	129,644
特定預金取崩収入	120,000	0
財政基金取崩収入	3,000,000	3,000,000
計	8,955,000	8,084,644
繰越金	1,475,927	1,475,927
合計	10,430,927	9,560,571

支出の部		
項目	予算額	決算額
事業費	4,070,000	3,858,550
事務費	100,000	0
通信費	700,000	584,360
会議費	100,000	4,144
慶弔費	100,000	56,408
旅費交通費	100,000	50,580
財政基金繰入支出	3,000,000	3,000,000
予備費	2,260,927	0
計	10,430,927	7,554,042
繰越金	0	2,006,529
合計	10,430,927	9,560,571

今までありそうでなかつたものに同窓会や大学のオリジナルグッズがありました。私たちが学んだ文学部に加え、栄養科学部が出来る今年、不織布製の手提げバッグを同窓会オリジナルグッズ第一弾として作成しました。A4の書類が入るサイズで、青地にスクールカラーの紫でMorioka University SERYOU Alumni Associationと印字しました。この春、晴れて私たちの仲間となる卒業生のみなさんに、そして盛岡大学に新たな息吹を呼んでくれるに違いない新入生のみなさんに私たち同窓会からのプレゼントとして贈ることにしました。同窓会員の皆様へ贈布についてはおつて聖陵同窓会のサイトでご案内したいと思っています。



これからも皆様からのたくさんのメッセージや企画にお応えしていきたいと思っています。本当にすばらしい学生を見守つてきた者として、本当に嬉しいです。本名は、「茂」というのかぎです。本名は、「茂」という穩やかな語り口の先生だったと記憶しています。逝去される数ヶ月前に大学をご子息と訪ねていらっしゃいました。お元気そうでしたのに残念です。

著書は多數あります。平成四年頃映画化された「春来る鬼」一九六三年・吉川英治賞受賞「ミルナの座敷」「日本の恐ろしい話」「日本のカツバ話」など。

「日本のおとぎ話」など。

吉田典子(昭和60年度卒) / 川村匡世(昭和62年度卒) / 三戸淳一(昭和62年度卒) / 佐藤大裕(平成12年度卒) / 上條尚樹(平成15年度卒)
吉田智子(平成15年度卒) / 川田彩乃(平成20年度卒)

今までありそうでなかつたものに同窓会や大学のオリジナルグッズがありました。私たちが学んだ文学部に加え、栄養科学部が出来る今年、不織布製の手提げバッグを同窓会オリジナルグッズ第一弾として作成しました。A4の書類が入るサイズで、青地にスクールカラーの紫でMorioka University SERYOU Alumni Associationと印字しました。この春、晴れて私たちの仲間となる卒業生のみなさんに、そして盛岡大学に新たな息吹を呼んでくれるに違いない新入生のみなさんに私たち同窓会からのプレゼントとして贈ることにしました。同窓会員の皆様へ贈布についてはおつて聖陵同窓会のサイトでご案内したいと思っています。

インフォメーション

同窓会報も恩師の逝去の記事を掲載することが多くなりました。

須知茂先生(日本文学科所属・昭和六十一年四月から平成七年三月まで在職)の訃報です。昨年の三月十七日に逝去されました。享年八九歳。

日本文学科の教授でしたが、児童教育学科の児童文学でもお世話をいたしました。

「ぼくね須知徳平といふんだ。もののかぎです。本名は、「茂」という

穏やかな語り口の先生だったと記憶しています。逝去される数ヶ月前に

大学をご子息と訪ねていらっしゃいました。お元気そうでしたのに残念

編集後記

編集委員

吉田典子(昭和60年度卒) / 川村匡世(昭和62年度卒) / 三戸淳一(昭和62年度卒) / 佐藤大裕(平成12年度卒) / 上條尚樹(平成15年度卒)
吉田智子(平成15年度卒) / 川田彩乃(平成20年度卒)

聖陵同窓会報第13号から編集委員が増え、若返りを図りました。親子ほど年の違う同窓生同士が協力し合う姿に新鮮さを感じます。これからは新しい角度で同窓会報が作られ皆様のお手元に届くことになるでしょう。ご期待ください。